



瓊浦高等学校 学校通信 第 139 号

令和 6 年 3 月 21 日 発行 電話 095-826-1261

FAX 095-820-5245



## 瓊 浦 の 窓

地域に開かれた美しい「港」としての瓊浦高校

教頭 畑野 公昭

「瓊浦は頑張ってますね。地域によく協力してくれている。瓊浦が一番頑張ってる！」2月中旬に県立美術館で開催した「けいほ展」で、会場を観覧されていた年配の男性からかけていただいた言葉です。男性の言葉の響きにはあたたかみと力強さがあり、瓊浦高校を応援されている気持ちたちがストレートに伝わってきて、とても嬉しくなりました。

「けいほ展」の中心として展示した機械科3年生の「課題研究」による「亀山焼」と情報ビジネス科や美術の授業で制作した「ハタ」は、長崎の伝統文化を継承する取組の結晶と言えるものでしたが、同時に長崎の伝統文化の創造的な再生と地域との共有という積極的な意味も醸し出していました。「けいほ展」以外でも、エイサー・和太鼓部が伊良林校区祭りやランタンフェスティバルなどの地域の祭りや行事でダイナミックな太鼓の音を響かせて日本文化の真髄を披露したり、風頭公園で開催された「市民もみじ植樹祭」や「菜の花忌」に本校生徒が参加したりして、地域文化の担い手として実際に活動していることも瓊浦の「頑張り」と言ってよいでしょう。

最近では、高齢者や困っている方への親切な振る舞いへの感謝のお便りやお電話もちらほら入ります。また、ハンドボール部男子のインターハイ準優勝をはじめ、部活動の全国的な活躍などでしばしば新聞紙上を賑わわせることもあります。日常の細やかな気配りから鍛え抜かれた全国レベルの活躍に至るまで、「瓊浦生」の活動で元気づけられる地域の方々も多いようです。その意味から言うと、瓊浦高校は県下で最も外に向かって開かれ、地域の活性化に貢献している学校と言ってよいかもしれません。冒頭の「瓊浦が一番頑張ってる」とは、それらを含んだものととらえてよいでしょう。

ところで瓊浦高校の「瓊浦」は、1571年に開港する以前の長崎の古称で、「美しい宝石のように輝く海、港」という意味です。港からは当然のごとく船が大海原に出て行きます。地域社会に飛び出していく生徒の皆さんはさしずめその優れた船乗りと言えるでしょう。海にはロマンと冒険が待っています。スティーブソン氏の「宝島」を読んだ人も多いと思いますが、かつてアニメーション化された「宝島」のテーマ曲（岩谷時子作詞 羽田健太郎作曲）の2番の歌詞が、「海」に乗り出す船乗りへのエールとしてぴったりだと思います。来たるべき創立100周年に向けて、その磨いた力、技、知性をどんどん学校の外に送り出してください。

さあ行こう 歌声が流れる 青空の真下に白い帆を上げよう  
海が呼ぶ 冒険の旅路で 苦しいことや嵐にきっと遭うだろう  
いつも微笑みを忘れずに 勇気を胸に進もうよ  
ただ一つの憧れだけは どんな時にも消せはしないさ  
ただ一つの憧れだけは どの誰にも消せはしないさ

## 卒業証書授与式

2月23日金曜日、第75回生の卒業証書授与式が行われました。昨年度まではコロナウィルス感染の影響もあり、保護者の方々の入場制限が設けられていましたが、今年度は制限も解除され、体育館、教室への立ち入りが認められた中での卒業式となりました。祝日の開催ということもあって、多くの保護者の方が会場に駆けつけてくださいました。式自体は、厳粛な雰囲気の中で行われ、卒業244名の生徒たちは、3年間の高校生活の思い出を振り返ると共に、今後の新生活への期待と不安で胸がいっぱいの様子でした。

卒業生答辞を務めた中島さん（情3A）は、途中涙で声を詰まらせながら、感動の文章を読み上げてくれました。高校3年間の数々の出来事、部活動の思い出など、多くの卒業生たちが共感できる内容で、会場中は大きな感動

に包まれていました。

卒業式が終わると、各教室でのホームルームが行われ、担任の先生、クラスメイトとの最後の時間を各教室で楽しそうに過ごしていたようです。

卒業した生徒たちは、これから瓊浦高校を飛び出し、新たなステージに臨むこととなります。それぞれ道は異なっていますが、瓊浦で学んだことを活かし、活躍して欲しいと思います。



## 進路ガイダンス

3月5日に1年生、13日に2年生の進路ガイダンスが行われました。それぞれ大学や専門学校、企業から講師をお招きし、業種ごとの仕事内容の説明や学校の教育カリキュラムの説明などが行われ、生徒たちは熱心に聞いているようでした。特に2年生においては、進路選択が間近に迫っており、真剣に自分の将来と向き合わなければいけない時期でもあります。こうしたガイダンスをきっかけにして、進路を考える良い機会となればと思います。



## キャリアデザイン

2年生の未来創造コースの生徒が年間を通じて履修する科目「キャリアデザイン」において、作成した内容が教室内に掲示され、生徒たち自ら評価を行う取り組みがなされました。

今年度、生徒たちが取り組んだのは、新聞を利用した学習です。気になった記事や特徴的な記事を取り上げ、その内容について調べ学習や考察をまとめるといった活動を通じて、文章力を高めると同時に、社会について学ぶものです。生徒たちは楽しそうにクラスメイトの記事に目を通し、評価をしていたようです。



## 強歩大会

3月8日、強歩大会が行われました。3月にしては、やや風が肌寒かったものの、天候には恵まれ、清々しい気候の中で歩くことができました。

コースは昨年同様、男女ともに約20キロ。学校から戸町を経由し、女神大橋を渡って戻ってくるといったものです。後半は上り坂の連続で、距離以上にきついコースとなりますが、生徒たちは友人たちと楽しそうに会話しながら歩いていました。

普段から鍛えている運動部の生徒などは、積極的に走って正午には学校に到着していましたが、歩くのに慣れていない生徒たちにとっては、20キロはかなりきつかったようで、後半は口数も少なくなり、肩で息を切らしながら、頑張っている姿が見られました。無事にゴールした生徒たちの顔は皆笑顔で、学校行事を十分に楽しんでいる様子でした。

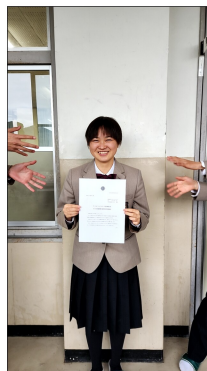


## YCE短期留学

2024年度YCE短期留学派遣生として松尾 柚季さん（普1A）がシンガポールに短期留学することが決定しました。今後、月に1回程度の研修を経て、7月29日から8月12日にかけて、シンガポール・マレーシアに旅立つ予定です。

松尾さんに派遣生に決定した心境を聞くと、「とても光栄なことだと思います。短い期間ではありますが、高校2年の夏という貴重な時期に、貴重な経験ができることを本当に嬉しく思います。推薦して下さった学校の先生方、ならびに機会をくださったライオンズクラブの方々には感謝しています。」と語ってくれました。

「この海外研修を通じて、自分の視野を大きく広げたい」という松尾さん。今回の短期留学は、彼女にとって、かけがえのない貴重な経験になることは間違いないでしょう。こうした機会を十分に活かし、自分の今後の進路、人生に大いに役立てて欲しいと思います。そして、まだ先のことでありますが、帰国後に成長した姿を見せてくれることを大いに期待しています。



## 部活動戦績

### 【男子バドミントン部】

令和5年度八代カップ  
高校選抜バドミントン大会  
優勝・準優勝

準々決勝

瓊浦A 3-0 九国大付

瓊浦B 3-1 日章学園

準決勝

瓊浦A 3-0 自由ヶ丘

瓊浦B 3-1 八代東A

決勝

瓊浦A 3-0 瓊浦B

### 【男子バスケットボール部】

Wリーグエキシビジョンマッチ  
瓊浦 72-101 福岡第一

### 【男子バレーボール部】

第35回諫早市協会旗大会  
第3位

予選リーグ

瓊浦 2-1 諫早農業

瓊浦 2-1 長崎工業

決勝トーナメント

1回戦

瓊浦 2-0 長崎日大

2回戦

瓊浦 2-0 諫早

3回戦

瓊浦 0-2 鎮西学院

### 【女子バドミントン部】

長崎市総合バドミントン選手権大会  
ダブルス

準優勝 前田（普2A）・

桑原（普1A）組

第3位 福永（普1D）・

荒木（普1A）組

ベスト8 佐野（普1D）・

田中（普1D）組

八木（普2D）・

東（普2D）組

シングルス

第3位 前田 沙耶（普2A）

ベスト8 福永 栞（普1D）

ベスト16 荒木 瑠実（普1A）



## 4月の主な行事

4月	8日	始業式・新任式 入学式・PTA入会式
	9日	部活動紹介 進路模試③
	10日	進路適性検査②
	11日	写真撮影①
	12日	歓迎遠足
	15日	面談週間（～19日）
	18日	胸部X線検査
	19日	歓迎遠足（予備日）
	23日	第1回実力考査
	24日	心電図検査（～25日）